

令和2年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。
 - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名 (**技術**) 教科担任名

★教科・観点について
 学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。<○成果 ▲課題>

| 観点 | 1学期 | | 2学期 | | 3学期 | | |
|---------------------------|--|--|--|-------------|---------------------|---------------|------------------|
| | 学年 | 課題分析 | 具体的な改善策 | 学年 | 課題分析(授業改善・プランの1次評価) | 1次評価後の具体的な改善策 | 改善プランの評価・来年度にむけて |
| 生活や技術への 関心・意欲・態度 | 1年 | ・中学校で初めて行う技術という教科についてのガイダンスを通して、関心を高めることができた。 ・積極的に授業内容について取り組む姿勢はある。 | ・ICT機器を使用し、作業の流れを確かめ興味・関心を高める。 | 1年 | | | |
| | 2年 | ・1年時の振り返りを行い、材料と加工に関する技術の単元の関心を高めることができた。 ・積極的に授業内容について取り組む姿勢はある。 | ・ICT機器を使用し、作業の流れを確かめ興味・関心を高める。 | 2年 | | | |
| | 3年 | ・新しい内容への興味・関心が高い。 ・積極的に授業内容について取り組む姿勢はある。 | ・ICT機器を使用し、作業の流れを確かめ興味・関心を高める。 | 3年 | | | |
| 生活を工夫し創造 する能力 | 1年 | ・自分の生活と結び付けて、学習内容を理解できるようにし、実践ができるようにする。 | ・生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付ける時間をとっていく。 | 1年 | | | |
| | 2年 | ・自分の生活と結び付けて、学習内容を理解できるようにし、実践ができるようにする。 | ・生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付ける時間をとっていく。 | 2年 | | | |
| | 3年 | ・自分の生活と結び付けて、学習内容を理解できるようにし、実践ができるようにする。 | ・生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付ける時間をとっていく。 | 3年 | | | |
| 生活の技能 | 1年 | ・作業には興味をもって取り組もうとしている。 ・安全面に注意した作業を行えている。 | ・安全に正確な作業を行えるよう、掲示物や動画等を使用して取り組める環境を作る。 | 1年 | | | |
| | 2年 | ・作業には興味をもって取り組もうとしている。 ・安全面に注意した作業を行えている。 | ・安全に正確な作業を行えるよう、掲示物や動画等を使用して取り組める環境を作る。 | 2年 | | | |
| | 3年 | ・作業には興味をもって取り組もうとしている。 ・安全面に注意した作業を行えている。 | ・安全に正確な作業を行えるよう、掲示物や動画等を使用して取り組める環境を作る。 | 3年 | | | |
| 生活や技術についての 知識・理解 | 1年 | ・授業で獲得した知識を活用して、作品作りに生かそうとしている。 | ・小テストや教科書等を活用して知識の定着をはかる。 | 1年 | | | |
| | 2年 | ・授業で獲得した知識を活用して、作品作りに生かそうとしている。 | ・小テストや教科書等を活用して知識の定着をはかる。 | 2年 | | | |
| | 3年 | ・授業で獲得した知識を活用して、作品作りに生かそうとしている。 | ・小テストや教科書等を活用して知識の定着をはかる。 | 3年 | | | |
| 授業改善の検証方法 | ・毎時間の振り返りの時間の確保と質の向上 ・ICT機器の積極的な活用 | | | | | | |
| 研修課題(キャリア教育に関連した教科としての取組) | 研修課題に対する教科としての具体的な実践方法 | 1学期の成果と課題 | 1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容 | 2学期までの成果と課題 | 1年間の成果と今後の課題 | | |
| 未来を考える | ・身近な製品や、近年話題になっている最新技術についての情報を、授業と絡めていく。 | | ・授業時数が少なく、知識を伝達することが多くなってしまった。協同的な学習を取り入れ、深めていく。 | | | | |